

# 公明党議員団視察報告書

## 1 視察先・目的

栃木県日光市

本庁舎整備事業について

## 2 期間

平成30年11月16日

視察報告書

日 時	平成 30 年 11 月 16 日（金）午後 1 時から午後 3 時まで
視 察 先	栃木県日光市
視 察 項 目	本庁舎整備事業について
視 察 者	公明党議員団（大村 聡、泉 清秀）
視 察 内 容	<p>日光市の本庁舎は築後45年を経過し、施設の老朽化によるユニバーサルデザインやICTへの対応の限界、維持管理費の増大など様々な課題が顕在化している。さらに、平成21年度に実施した耐震診断によると、現状のままでは「災害対策拠点とはなり得ない」との結果が出ており、東日本大震災では、耐力壁に亀裂が入るなどの被害も出ている。</p> <p>これらの課題を整理するため、22年10月に総合支所等の庁舎整備に係る基本方針を策定。23年12月、基本方針に基づき庁舎整備指針を策定した。24年8月には、庁舎整備指針に基づき、市民参加による検討組織として、「日光市本庁舎整備検討市民委員会」を設置し、「位置については現在の敷地を利用し、整備手法については新庁舎を建設する」と方向性を導き出し、市長へ提出した。その後、事業推進の指針となる計画を策定するに当たり、市民から必要な意見を求めるため、平成25年8月に「本庁舎整備基本計画検討市民委員会」を設置し、基本計画（案）について検討し、市へ提出された。</p> <p>これらの市民委員会からの報告書と基本計画（案）をもとに、日光市庁舎整備庁内検討委員会及び庁舎整備ワークチーム会議において慎重な検討を重ね、市民委員会の意見を最大限に反映しつつ、本庁舎のあるべき姿を見据えた基本計画を策定した。</p>
所 感	<p>日光市新庁舎整備事業は、基本構想から完成までのプロセスにおいて、都度、市民参画として市民委員会等を設置し、市民からの意見を十分に聞き、計画等に活かし、市民目線でのニーズに沿った利便性を追求している事業であった。</p> <p>建設地を日光街道と例幣使街道が交わり、日光連山を望む特徴的な地域に決定したこと、日光杉や檜を随所に使用したことは、地域性を存分に活かしたものであり、ユニバーサルデザインにより障がいのある方にもやさしい庁舎であった。一方、新庁舎の建設は、市民だけでなく、業務連携・効率を高めることにより、職員の働き方を変えるチャンスであると感じた。このことは働き方改革への効果も見込まれるものである。</p> <p>今回の視察は、市民参画の活用を始め、職員の働き方改革など市庁舎のあり方について様々な可能性を見ることができ、今後の本市庁舎整備をする上で大変参考となった。</p>